

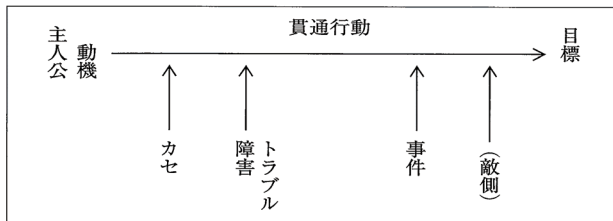
# 『物語の鉄則』による作品分析

高木 真理子

すべての物語（ドラマ）に共通する“物語の鉄則”に従って映画作品を分析することにより、主人公の紹介・カセ（枷）・動機、そしてどのように障害やトラブル・事件を乗り越えて目標に向かって行くのかをまとめる。なおかつ、構成の基本である起・承・転・結（発端・展開・クライマックス・結末）との関係を考察する。

## 1. 物語の鉄則について

主人公が幾多のハードルを乗り越えて、どのように目標に向かって行動していくかのストーリー創作方法。



※上図は、柏田道夫氏の『物語の鉄則』<sup>①</sup>です。

- 1) 主人公…性別、年齢、職業、性格、生活環境、社会環境などの紹介。
- 2) 動機…主人公が目標に向かって動き出したきっかけとなる事情。
- 3) カセ(枷)…昔の刑具の一つで、罪人の首または手足などにはめて自由を束縛することから、主人公の行動を制約・束縛しているもの。
- 4) 障害／トラブル…目標に向かって進む主人公を阻止しようとする状況。

- 5) 事件…幾多の障害／トラブルを乗り越えた主人公にとっての最大の危機。
- 6) 敵側…ドラマによっては設定されないこともあるが、5)と同様。
- 7) 貫通行動…主人公が目標に向かって進む為の一貫した行動。
- 8) 目標…幾多の障害や最大の危機を乗り越えて到達する状況や場所。

今回は、この“物語の鉄則”と構成の基本である起・承・転・結（発端・展開・クライマックス・結末）の関係を作品分析を通して考えてみます。

分析する作品（映画）は、この物語の鉄則がもっとも分かり易いロードムービー（旅物語）の3作品です。

- 『ブルース・ブラザーズ』<sup>②</sup>1980年アメリカ映画
- 『ノッキン・オン・ヘブンズ・ドア』<sup>③</sup>1997年ドイツ映画
- 『菊次郎の夏』<sup>④</sup>1999年日本映画

## 2. 『ブルース・ブラザーズ』

### (1) 作品紹介

1980年アメリカ映画

監督／ジョン・ランディス

脚本／ジョン・ランディス&ダン・エイクロイド

キャスト／ジェイク・ブルース…ジョン・バレーシ

エルウッド・ブルース…ダン・エイクロイド

謎の女…キャリー・フィッシャー

ナチ指揮官…ヘンリー・ギブソン

ブルース・ブラザーズバンド  
 ギター…スティーブ・クロッパー  
 ベース…ドナルド・ダック・ダン  
 ピアノ…マーフィー・ダン  
 ドラムス…ウィリー・ホール  
 トロンボーン…トム・マローン  
 サックス…ルー・マリニー  
 トランペット…アラン・ルービン

仮出所中のジェイクと免許中のエルウッドの兄弟は、自分達が育った養護施設を救う為に、固定資産税 5000 ドルをなんとか工面しようとブルース・ブラザーズバンドを再結成してバンド活動の旅に出る。

(2) 物語の鉄則

主人公……ジェイクとエルウッドの兄弟。  
 いつもサングラスと黒ずくめの衣装。

カセ (枷) …○ジェイク (兄) は、仮出所中。エルウッド (弟) は、免許中。  
 警察沙汰を起こしたら、二人とも監獄行き。  
 ○二人とも聖ヘレナ養護施設で育つ。(孤児)  
 ○固定資産税 5000 ドルを 11 日以内に納めないで聖ヘレナ養護施設がなくなる。

動機 ………ブルース・バンドを再結成して、税金 5000 ドルを作る。

障害/トラブル

- メンバー再結成の障害 (A)
- 免許中に交通違反で、警察に追われる。(B)
- 謎の女からの襲撃。(C)
- ナチ党を川へ落としたため、恨みをかう。(D)
- オールドブラザーズの仕事を横取りした為、追われる。(E)

事件 ………警察  
 謎の女  
 ナチ党  
 オールドブラザーズ

大追跡と逃亡

目的……税金 5000 ドルを支払い、養護施設を救う。

結末……ジェイクとエルウッドは、税金 5000 ドルを期日までになんとか納めたが、警察に逮捕されて監獄行き。

テーマ……音楽で人を救済する。

(3) 構成

発端……主人公は、ジェイクとエルウッドの兄弟。  
 ジェイクは、仮出所中であること。  
 固定資産税 5000 ドルを 11 日以内に納めないと養護施設がなくなる。  
 ジェイクは、教会で神の啓示を受けて  
 ‘バンド再結成’を決める。

展開 1……バンドメンバー再結成への障害。 A-1  
 エルウッドは、免許中なのに信号無視がきっかけで警察に追われる。 B-1  
 謎の女、ジェイクを襲撃。 C-1

---

展開 2……翌日。  
 警察、踏み込んで来る。 B-2  
 謎の女、襲撃。(アパートを爆破) C-2  
 バックバンドとトランペット奏者を獲得し、メンバーの一部揃う。 A-2

---

展開 3……数日後。  
 ナチ党を川に落として恨みをかう。 D-1  
 ギター奏者を獲得し、バンドメンバー全員揃う。 A-3  
 謎の女、何かを企んでいる。 C-3

---

展開 4……数日後。  
 レイの店で楽器を調達して、活動開始。  
 謎の女、襲撃。(電話ボックス爆破) C-4  
 ナチ党の追跡。 D-2  
 オールドブラザーズの仕事を横取りした為、追われる。 E-1  
 再びスピード違反で、警察に追われる。 B-2

——— ブラックフェード ———

展開 5……数日後。

プロデューサーにコンサートをセットしてもらおう。

宣伝中にガス欠で、コンサートに遅れる。

レコード契約で 5000 ドルを確保。

謎の女、襲撃。(ラスト) C-5

オールドブラザーズの追跡。(ラスト) E-2

警察のしつこい大追跡。 B-4

——— ブラックフェード ———

クライマックス・結末 ・翌日。

ナチ党の追跡。(ラスト) D-3

シカゴ警察総出動による、大追跡。 B-5

税金 5000 ドルを期日までに何とか納める。

2 人はとうとう警察に逮捕される。

エピローグ・数日後。

2 人とも、監獄。(監獄ロック)

#### (4) まとめ

物語の鉄則における障害・トラブルでの (A) ~ (E) は、構成の展開部 1~5 とクライマックスに幾度も設定され、執拗に主人公達の行動を阻止しようと挑んで来る事がわかる。また、目標は達成されたが警察に逮捕されてしまう。しかし、テーマから考えると、絶えず問題を起こしてきた二人が再び逮捕され不自由な身になることよりも、音楽で人を救うことに生き甲斐を持つように変化していったことがわかる。

### 3. 『ノックン・オン・ヘブンス・ドア』

#### KNOCKIN' ON HEAVEN'S DOOR

##### (1) 作品紹介

1997 年ドイツ映画

監督・脚本／トーマス・ヤーン

キャスト／マーチン…ティル・シュヴァイガー

ルディ…ヤン・ヨーゼス・リーファース

ヘンク…黒スーツのギャング

アブドゥル…同上 (弟分)

カーチス…ルトガー・ハウアー

死期の迫った二人の重病患者マーチン (脳腫瘍) とルディ (骨肉腫) は、天国での一番の話題は“海”の事を知る。二人は他人の車で病院を抜け出し、まだ見たこともない海を目指して旅に出る。

##### (2) 物語の鉄則

主人公……検査入院で同室となった二人

マーチン 独身青年、女好きと規則やぶりの性格。

ルディ 独身青年、規則を守る常識ある性格。

カセ (枷) …マーチンは、脳腫瘍であと数日の命と宣告される。

ルディは、末期ガンの骨肉腫で死期を宣告される。

二人とも重病患者。

動機 ………テキーラの飲酒で意気投合した二人は、天国での一番の話題は“海”の事を話す。天国で仲間はずれにならない為に、死ぬ前に海を見ようと病院を抜け出す。

障害／トラブル

○ベンツを盗んだ為に、ギャングに追われる。(A)

○現金強盗をした為に、警察に追われる。(B)

○マーチンの発作 (C)

事件 ………ギャング達にとうとう捕まり殺されそうになるが、天国での話題を知っている大ボスに助けられる。

目的／結末…二人は念願の“海”を見ながら、天国の扉を叩いた。

テーマ……死に直面した男達の友情。

##### (3) 構成

プロローグ…キャバレーロマンスにいる 2 人組のギャングは、ボスの使いで高級車ベンツを大ボス

のカーチスに届けるように命じられる。  
 発端 ……主人公のマーチンとルディは、同じ列車に乗りあわす。  
 マーチンは、独身青年・女好きと規則破りの性格。  
 ルディは、独身青年・規則を守る常識ある青年。  
 2人は、検査入院で同室となる。  
 マーチンは、脳腫瘍であると数日の命と宣告され、ルディは、末期ガンの骨肉腫で死期を宣告される。

病院でテキーラを飲酒し、意気投合した二人は、天国での一番の話題は“海”のことを話す。まだ海を見たこともないルディの為に、死ぬ前に海を見ようと他人の車で病院を抜け出す。

————— オーバーラップ —————

展開1……翌日

酔った勢いでベンツを盗んだ為、  
 2人組のギャングに追われる。 A-1  
 ガソリンスタンドと銀行で現金強盗をした為、警察に追われる。 B-1  
 マーチンの発作(軽症) C-1  
 ベンツのトランクにあったギャングの大金を取る。 A-2  
 豪華ホテルに宿泊し、大金の使い道を考える。  
 ・マーチンは、母にプレスリーと同じ車をプレゼントしたいと思う。  
 ・ルディは、2人の女性とベッドインしたいと思う。  
 マーチンの発作(重症) C-2

————— オーバーラップ —————

展開2……翌日

警察に捕らえられそうになり、パトカーを盗み逃亡。 B-2  
 ベンツはギャングの2人組にもどったが、トランクの大金はない。  
 パトカーがエンジントラブルの為、一般市民の車に乗り換え逃亡。  
 ショーウィンドーの“海”のポスターに見とれる二人。

マーチンの発作(かなり重症) C-3  
 警察の追跡を逃れる為、マーチンはルディを人質と偽ってレストランに立て籠もるが、何とか逃亡する。 B-3  
 人質事件のニュースを見たギャング達は、トランクの大金を二人が盗んだと確信し、再び追跡する。 A-3  
 警察とギャング達の大追跡と銃撃戦から B-4  
 逃亡中、崖から転落するが無事逃亡する。 A-4

————— オーバーラップ —————

展開3……翌日

手元にある大金を、ガソリンスタンドや銀行へ間接的に返済する。  
 マーチンは願いを叶える為、プレスリーがママに贈ったと同じキャデラックを購入し、母の元へ届ける。  
 マーチンは母の眼前で警察に逮捕されそうになった時、発作が起き意識不明となり、救急車で病院へ向かう。しかし、 C-4  
 それは仮病で何とか警察から逃れる。 B-5

クライマックス…その夜

ルディの願いを叶える為、二人はキャバレーロマンスに寄る。しかし、そこはギャング達の店(シマ)だった。 A-5  
 二人は、ギャング達にとうとう捕らえられ殺されかかるが、天国での話題を知っている大ボスのカーチスに助けられる。

————— オーバーラップ —————

結末 ……夜明け

二人は念願の海を見ながら、天国の扉を叩いた。

(4) まとめ

物語の鉄則における障害・トラブルの(A)～(C)は、構成の展開部1～3とクライマックスに幾度も設定され、『ブルース・ブラザーズ』同様執拗に主人公達の行動を阻止しようと挑んで来る事がわかる。そして、目標は達成され二人は現世と別れ、天国へ旅立つ。しかしテーマから考えると、無謀な旅で育んだ友情は終わりではなく、死出の旅路へと続いていくことを漂わせている。

## 4. 『菊次郎の夏』

### (1) 作品紹介

1999年日本映画

監督・脚本／北野 武

キャスト／菊次郎…北野 武

正男…関口雄介

菊次郎の妻…岸本加代子

正男のおばあちゃん…吉行和子

こわいおじさん…麿 赤児

浅草でおばあちゃんと二人暮らしの正男（小学生）は、夏休みなのに誰も遊んでくれない。そのため、遠くにいる母に会いたくて一人で行こうとする。しかし、心配した近所のおばさんが暇を持て余している旦那・菊次郎と一緒に行くよう命令する。お互い名前も知らない歳の離れた二人は、母を探す旅に出る。

### (2) 物語の鉄則

主人公……正男（小学生・9歳）

サッカー好きで、おとなしい性格。

菊次郎（無職・52歳）

暇を持て余していて、いかげんな性格。

カセ（伽）…正男／父を交通事故で失い、母はどこか遠くにいる。

おばあちゃんと二人暮らし。

菊次郎／妻帯者だが、妻の収入で生活している。正男と同様、子供の時に母と別れている。

動機 ……正男は夏休みなのに誰も遊んでくれない為、遠くにいる母に会おうと、写真と住所のメモを持って一人で行こうとする。

しかし、心配した近所のおばさんが、暇な旦那・菊次郎に5万円を渡し、浅草から豊橋（愛知県）まで送り届ける様に命令する。

お互い名前も知らない年の離れた2人は、母を探す旅に出る。

### 障害／トラブル

○旅費の5万円を競輪で使ってしまい、資金不足となる。

○怖いおじさんにいたずらされそうになる。

○タクシー運転手がトイレに行ったスキに、菊次郎が運転して目的地へ行こうとするが、途中でエンストを起こしてしまう。

○菊次郎の体に刺青がある。

○ヒッチハイクに何度も試みるがうまくいかない。

事件 ……母の所へやっと来たが、違う人が住んでいて母に会えなかった。（実は母は、再婚していた為、菊次郎が正男に嘘をついた。）  
縁日で菊次郎は、テンピラとけんかして血だらけの大げがをする。

目的 ……小さい時に別れた母に会うこと。

結末 ……母には会えなかったが、人の優しさに触れ、菊次郎も少年のような気持ちになり、楽しい夏休みを過ごし浅草へもどる。

テーマ ……お互い名前も知らない年の離れた2人が旅をすることで、お互いの優しさに触れ、少しずつ成長してゆく様子。

### (3) 構成

プロローグ…天使のような羽根がついたリュックを背負った正男が、リュックにつけた鈴を鳴らして嬉しそうに走っている。

### 発端 ……テロップ【おばあちゃんの友だち】

夏休みになり、正男（小学生）の友達には皆な家族と何処かへ出掛ける為、誰も遊んでくれない。

正男は父を交通事故で失い、母はどこか遠くにいる為、おばあちゃんと二人暮らしで夏休みの予定がなく、つまらなそうにしている。

偶然に母の写真を見つけ、会いたくなって一人で行こうとする。

心配した近所のおばさんが、暇を持て余している旦那・菊次郎に5万円を渡し、浅草から豊橋（愛知県）まで送り届けるように言う。

正男は名前も知らないおじさん・菊次郎と一緒に行くことになった。

展開1……菊次郎は、旅費のお金を競輪で使ってしまいヤケをおこしている。

#### テロップ【こわいおじさん】

怖いおじさんにいたずらされそうになった時、菊次郎に助けられる。そして、菊次郎は財布（お金）を取る。

夜遅く二人は、旅費が出来たのでタクシーで豊橋へ向かう。

タクシー運転手がトイレに行ったスキに、菊次郎が運転してしまうが、数時間後エンストを起こしてしまう。

展開2……テロップ【へんなおじさん】

タクシーを乗り捨てて、ホテルに行く。

ホテルのプールで遊ぶが、水着姿の菊次郎の背中には刺青がある。

その夜、正男は恐ろしい夢を見る。

展開3……テロップ【だめだった】

ホテルを出発したものの旅費不足の為、ヒッチハイクを試みる。

優しいお姉さんと楽しいお兄さんに遊んでもらう。

途中でお姉さん達と別れ、バス停でバスを待つがなかなか来ない。そこは廃止になったバス停だった。

狂言芝居で車を止めようとするが、うまくいかない。

ワゴン車の作家志望のお兄さんに乗せてもらい、母がいるらしい家の近くまで来る。

クライマックス

#### テロップ【天使の鈴】

母の所へやっと来たが、違う人が住んでいて母はそこにはいなかった。

悲しむ正男に、菊次郎はどうしようか迷う。（実は母は再婚していた為、菊次郎が正男に嘘をついた）

バイクに付いている“天使の鈴”を無理やりもらって正男に贈る。

#### テロップ【おじちゃんが遊んでくれた】

海辺で一緒に遊ぶ、菊次郎の優しさに接する正男。

#### テロップ【階段からおちたおじちゃん】

縁日で菊次郎はチンピラとけんかして、血だらけの大ケガをする。

ケガの手当てをする正男の優しさに接する菊次郎。

結末……テロップ【タコ男】

バイクの2人のお兄さん達とワゴン車の作家志望のお兄さんと、西瓜割りや手品をして楽しく遊ぶ。

菊次郎は思い立ったかのように、養老院に居る自分の母の様子を見に行くが、会わずに戻ってくる。

みんな少年のように、夏休みを楽しむ。

エピローグ……テロップ【サヨナラ】

バイクのお兄さん達とワゴン車のお兄さんとの別れ。

浅草にもどって、正男は初めて菊次郎の名前を尋ねる。

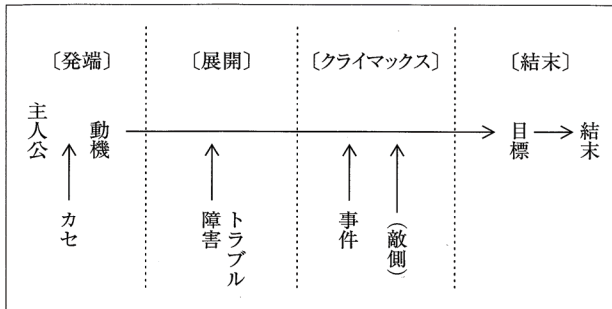
少し寂しいが、また会える菊次郎と別れ、楽しい夏休みを綴った絵日記を持って嬉しそうに家に帰る。

#### (4) まとめ

物語の鉄則における障害・トラブルは、他の2作品と違って、別々の障害が設定となっている。それは単に逃亡劇や追跡劇のような執拗なハードルを必要としないストーリーと考えられる。そして構成では、絵日記をテロップにしてエピソードの区切りを設定している。主人公達の目標は達成されなかったが、数日間の旅で人の優しさに触れお互いを思いやる気持ちが芽生えて、少しずつ成長してゆく過程が温かく表現されている。

## 5. まとめ

3 作品の分析によって“物語の鉄則”と“構成”の関係は下図の様に考えられる。



構成の各部、及び区切りを説明すると、

### (1) 発端と展開の区切り

動機があって動き出した時から、行動を阻止する障害・トラブルが設定されているので、ここが発端と展開部の区切りとなっている。

『ブルース・ブラザーズ』

神の啓示を受け、バンド再結成して 5000 ドルを工面しようと決めて行動した途端――

- (A) メンバー再結成の障害。
- (B) 交通違反で警察に追われる。
- (C) 謎の女からの襲撃。

『ノッキン・オン・ヘブズ・ドア』

二人が死ぬ前に海を見ようと病院を抜け出した翌日

- (A) ギャングに追われる。
- (B) 現金強盗で警察に追われる。
- (C) マーチンの発作が起こる。

『菊次郎の夏』

二人で母を探す旅に出た途端――

- 旅費をギャンブルで使ってしまい足止め。
- 怖いおじさんに、いたずらされそうになる。
- 菊次郎がタクシーを運転したがエンストで足止め。

### (2) 展開部

展開部では、障害・トラブルのエピソードがシークエンス（一連の出来事）を区切りにいくつかの小さなヤマ場として設定されている。それは外圧と内圧ともいえる。

『ブルース・ブラザーズ』

展開1～5のシークエンスは全てブラックフェードで転換接続し、日を変えて障害・トラブルのエピソードを設定している。

『ノッキン・オン・ヘブズ・ドア』

展開1～3のシークエンスは全てオーバーラップで転換接続し、翌日として障害・トラブルのエピソードを設定している。

『菊次郎の夏』

展開1～3のシークエンスは絵日記のテロップで展開接続し、障害・トラブルのエピソードを設定している。

### (3) 展開部とクライマックスの区切り

展開部の障害・トラブルの小さなヤマ場を乗り越えた次に大きなヤマ場を設定して、劇的頂点のクライマックスとして表現している。

### (4) 結末部

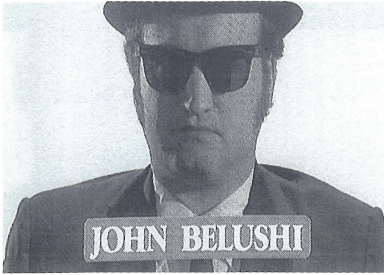
目標を達成した後に、即、結末としてテーマを完結させる『ブルース・ブラザーズ』『ノッキン・オン・ヘブズ・ドア』と、目標は達成しなかったが、結末でテーマを完結させる『菊次郎の夏』を考えると、テーマの完結となる結末部は、目標とその後に来る結末を含めた部分となる。

以上の結果、“物語の鉄則”と“構成”の関係は、ストーリー創作の基本を成していて人生の縮図のようである。そして、物語とは“人間が社会の中で、幾多のハードルを乗り越えて必死に生き、どのように成長していくかのプロセスを描いた世界”であること。またよく言われる言葉だが、“物語は終わるが、人生はつづく”を改めて実感しました。

〔註〕

- (1) 『月刊ドラマ』（映人社・1999年4月号）
- (2) 『THE BLUES BROTHERS』（ユニバーサル映画・1980年）
- (3) 『KNOCKIN' ON HEAVEN'S DOOR』（ドイツ映画・1997年）
- (4) 『菊次郎の夏 KIKUJIRO』（日本映画・1999年）

『ブルース・ブラザーズ』



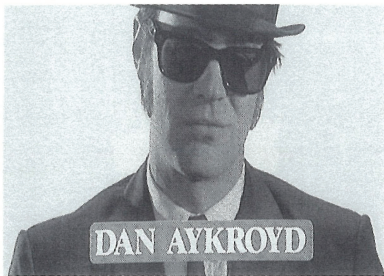
1 主人公ジェイク後のジョン・ベルーシ



6 障害 (B) の警察



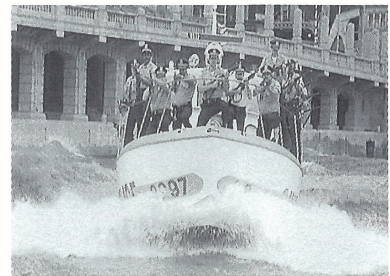
11 警察のしつこい大追跡



2 主人公エルウッド後のダン・エイクロイド



7 障害 (C) の謎の女



12 警察のしつこい大追跡



3 メインタイトル



8 障害 (D) のナチ党



13 警察のしつこい大追跡



4 シスターは、税金5000ドルを納めないと養護施設がなくなる事を二人に告げる



9 障害 (E) のオールドブラザーズ



14 警察のしつこい大追跡



5 神の啓示を受けてバンド再結成を決める



10 ブルース・ブラザーズのコンサート



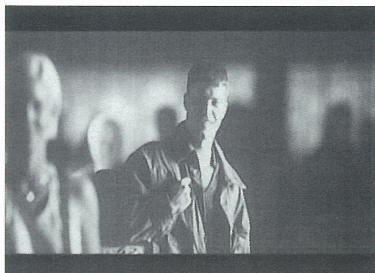
15 警察のしつこい大追跡



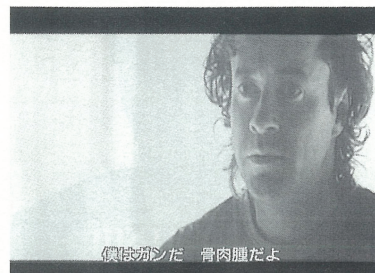
『ノッキン・オン・ヘヴンズ・ドア』



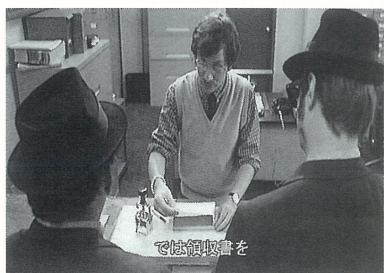
16 警察のしつこい大追跡



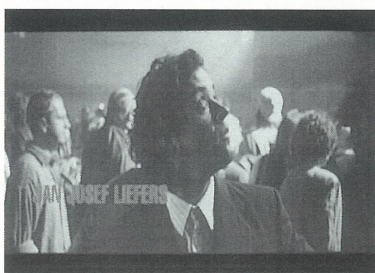
1 主人公マーチン



6 ルディの病状は、骨肉腫



17 税金5000ドルを何とか納める



2 主人公ルディ



7 天国での一番の話題は“海”のことを話す



18 二人はとうとう警察に逮捕される



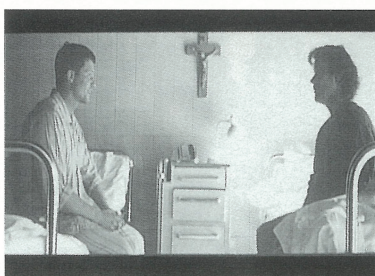
3 メインタイトル



8 ギャングの車ベンツを盗む



19 監獄でのコンサート (曲は監獄ロック)



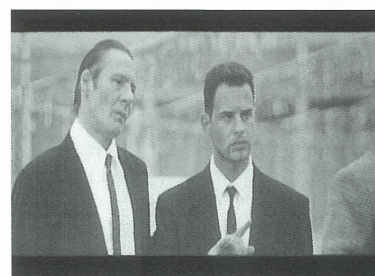
4 二人は検査入院で同室となる



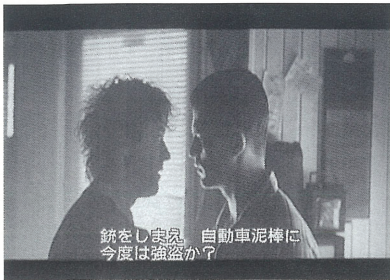
9 二人は病院を抜け出す



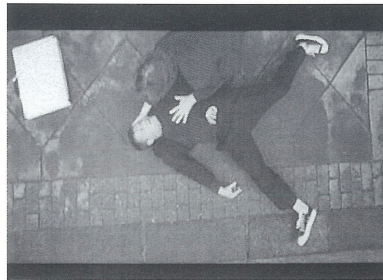
5 マーチンの病状は、脳腫瘍



10 ベンツを盗まれたギャング達



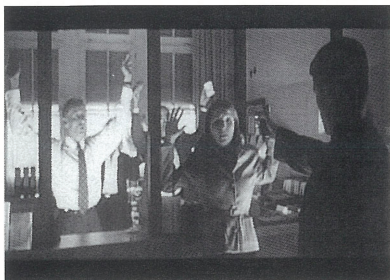
11 ガソリンスタンドで現金強盗



16 マーチンの発作



21 ギャングの発砲



12 銀行で現金強盗



17 ギャング達は、トランクの大金を二人が盗んだと確信する



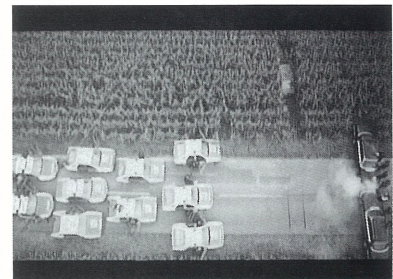
22 警察の発砲



13 警察の追跡開始



18 警察の追跡



23 二人は逃走



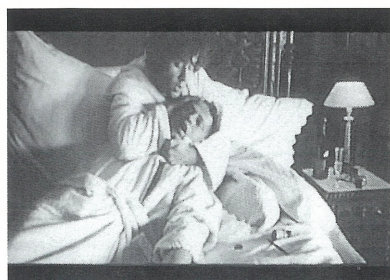
14 トランクの100万マルクを見つける



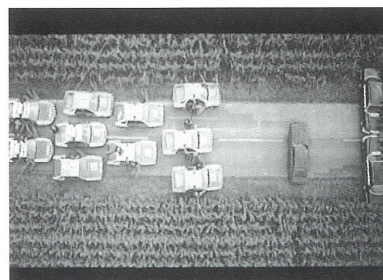
19 ギャングの追跡



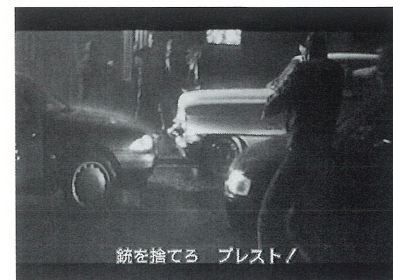
24 必死で逃げる二人



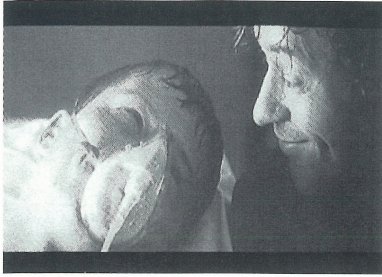
15 マーチンの発作



20 警察とギャングに挟まれる



25 マーチンは母の眼前で警察に逮捕される



26 仮病のマーチン

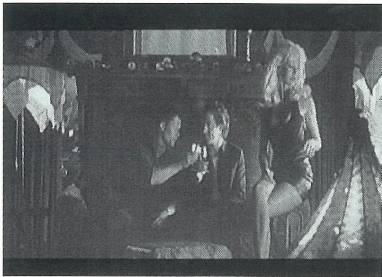


31 念願の海に来る二人

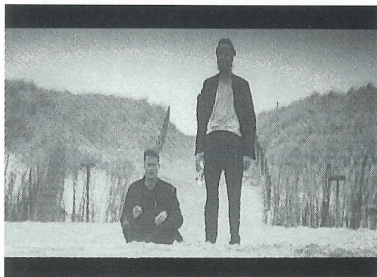
『菊次郎の夏』



1 メインタイトル



27 警察から逃げた二人は、娼婦館へ行く



32 海を見つめる二人



2 主人公・正男（小学生）



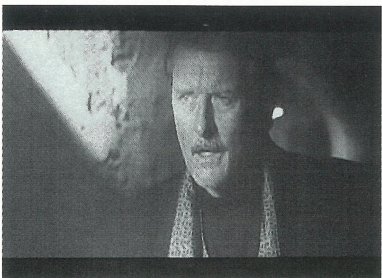
28 その娼婦館はギャング達の店だった為、二人は捕まってしまう



33 天国の扉を叩いた



3 テロップ【おばあちゃんの友だち】



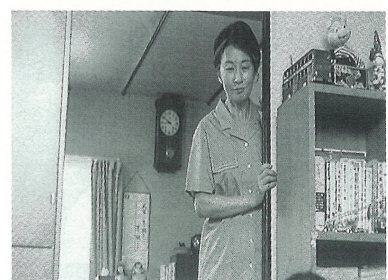
29 大ボスのカーチスに助けられる



4 主人公・菊次郎とその妻



30 最後の望みを告げる



5 正男のおばあちゃん



6 偶然見つけた母の写真



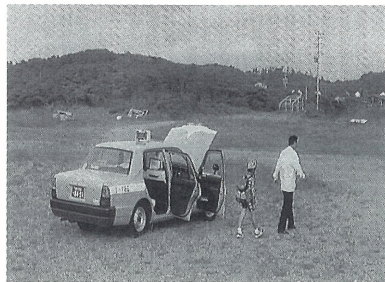
11 かわいおじさんに悪戯されそうになる



16 トラック運転手に同乗を断られる



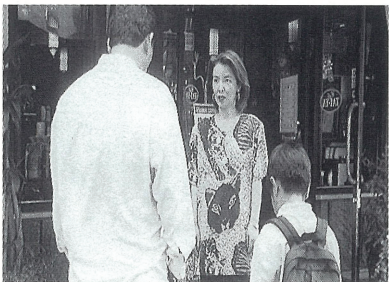
7 一人で母に会いに行こうとする正男



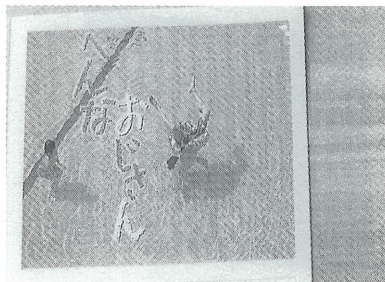
12 タクシーのエンストで歩く二人



17 ヒッチハイクの為に芝居をする二人



8 心配した近所のおばさんが、旦那の菊次郎と一緒に行くよう命令する



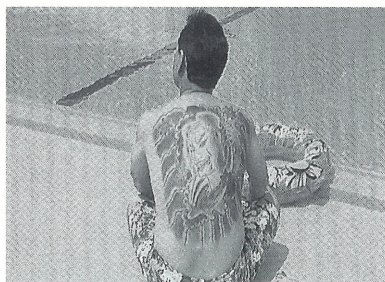
13 テロップ【へんなおじさん】



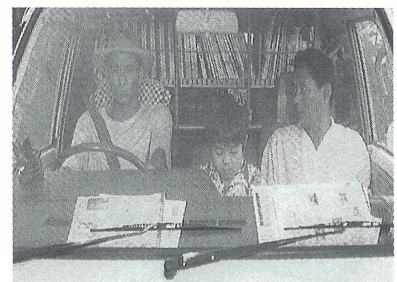
18 ヒッチハイクはうまくいかず歩く二人



9 旅費を競輪で使ってしまう



14 背中に刺青の菊次郎



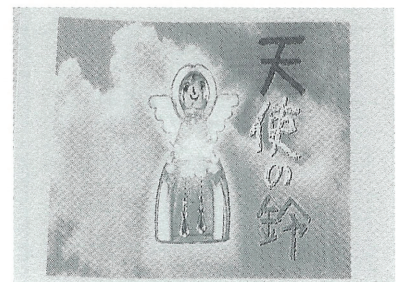
19 ワゴン車の作家志望のお兄さんに乗せてもらう



10 テロップ【かわいおじさん】



15 テロップ【だめだった】



20 テロップ【天使の鈴】



21 正男の母の家に近づく二人



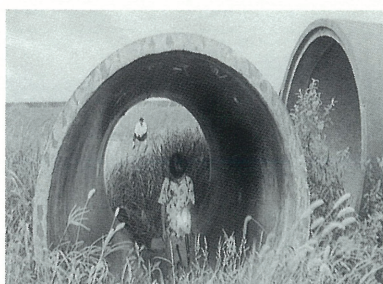
26 海辺で始めて手をつなぐ二人



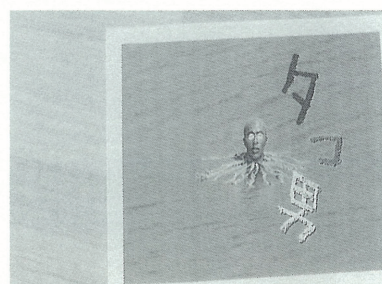
31 正男に手当てされた菊次郎



22 正男の母はすでに再婚していた



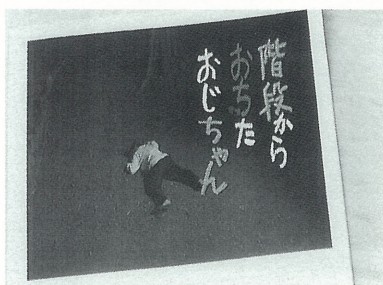
27 土管の中で遊ぶ正男



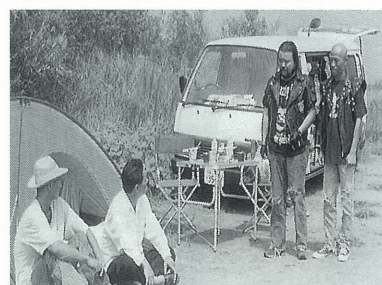
32 テロップ [タコ男]



23 母の再婚を知らない正男は母に会えなくて悲しむ 正男をなぐさめる菊次郎



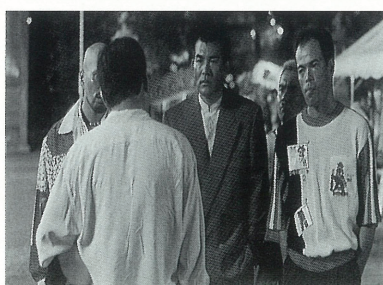
28 テロップ [階段からおちたおじちゃん]



33 バイクのお兄さん達が遊びにやって来る



24 菊次郎は正男に天使の鈴を渡す



29 縁日でチンピラにけんかを売る菊次郎



34 タコに変装したお兄さん



25 テロップ [おじちゃんが遊んでくれた]



30 チンピラになぐられた菊次郎



35 みんなで楽しく遊ぶ



36 テロップ [サヨナラ]



41 正男を見送る菊次郎



37 バイクのお兄さん達との別れ



42 菊次郎に別れを言って家に向かう正男



38 浅草へもどる  
ワゴン車の兄さんとの別れ



39 菊次郎と正男の別れ



40 正男は菊次郎の名前を始めて知る